

●エコグランプリいばらき まとめ

1. 開催概要

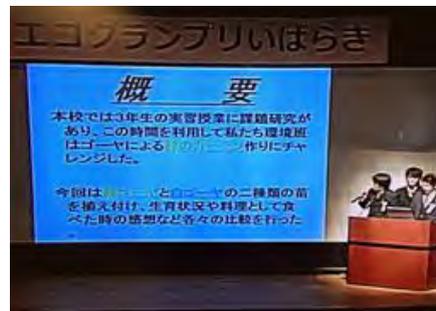
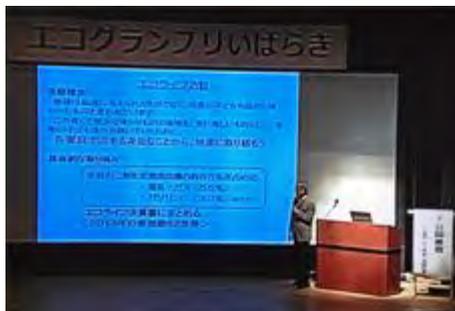
- 開催日時：平成26年2月15日(土) 13:30~16:30
- 開催場所：茨木市立男女共生センター ローズWAM ワムホール
- 来場者数：約100名(内、事務局関係者10名、審査委員4名)
- 公開審査参加件数：11件(チャレンジ部門6件、アイデア部門5件)
- 内容
 1. 開会・あいさつ
 2. 公開審査(発表と質疑応答)
 3. フロアー審査(休憩時間を活用した来場者による審査)
 4. 環境市民講座「なっとく!クイズで楽しむ省エネ講座」
講師：宇田 吉明さん(家庭の省エネエキスパート)
 5. 審査結果の発表と講評
 6. 閉会

2. 実施結果

(1) 実施報告

①公開審査(発表と質疑応答)

- ・一次審査を通過した11件の応募者より発表と質疑応答が行われた。
- ・審査委員長：茨木市 産業環境部長 西林 肇
- ・審査委員(敬称略)：大阪大学大学院工学研究科 環境・エネルギー工学専攻 助教 山口容平
茨木商工会議所 中小企業相談所 地域振興課長 笹井直木
環境を考える市民ネットワークいばらき 代表 佐名川玲子



②フロアー審査(休憩時間を活用した来場者による審査)

- ・当日の来場者によるシール投票による審査を行った。
- ・フロアー審査の対象は今回の応募者の提案21件(内、1件についてはフロアー審査対象外)を全てパネル化し、来場者はプログラムに添付されているシールをパネルに貼って投票した。



③環境市民講座「なっとく！クイズで楽しむ省エネ講座」

- ・家庭の省エネエキスパートである宇田 吉明さんを講師にお迎えして、クイズ形式でご講演をいただいた。

④審査結果の発表と講評

- ・エコグランプリいばらきの各賞受賞者に対して表彰式を行った。
- ・表彰式の後、山口審査委員より「真似してみたいと思う、魅力的な発表内容がたくさんあった。みなさんでどうやって真似したら良いか、どうやって広げていくかを考え、茨木の環境を良くしていただきたい」と講評をいただいた。



■受賞者一覧

	部門	タイトル	受賞者（敬称略）
最優秀賞	チャレンジ	ダンボールコンポストで生ごみリサイクル！～楽しくごみ削減～	森口智美
優秀賞	チャレンジ	我が家のエコライフ	林 裕子
	アイデア	エコカフェ～究極のエコ出店を目指して～	株式会社 創造舎
審査委員特別賞	アイデア	ペットボトル・トラス競技	早稲田摂陵中学校・高等学校生物研究部 水虫先生と仲間たち
エコ市民賞	チャレンジ	地球温暖化防止へのエコライフ活動の取り組み	パナソニック松愛会 茨木摂津支部
	アイデア	グリーンカーテンに実りのある多品種の苗を！！	竜田 洋
チャレンジ賞	チャレンジ	ゴーヤによる緑のカーテン作り	大阪府立茨木工科高等学校3年M2組課題研究環境班
	チャレンジ	省エネ機器の導入効果	仲村 勇治
	チャレンジ	エコッキング	食育クッキング
アイデア賞	アイデア	エコ収納で快適ライフ	常藤 和子
	アイデア	環境に配慮した校内の敷地緑化	大阪府立茨木工科高等学校 教諭 村瀬径介
フロアー賞	チャレンジ	ダンボールコンポストで生ごみリサイクル！～楽しくごみ削減～	森口智美

(2) まとめ

- ・市民・事業者等の低炭素に関する取り組み状況が具体的に把握でき、それぞれの取り組みを広げる機会として有意義であった。
- ・全応募者の応募内容を対象としたフロアー審査は、来場者もシールにて1票を投票でき、応募者・来場者が、さまざまな取り組みを知る良い機会となった。

(3) 今後の課題

- ・応募者や来場者を飛躍的に増やすことは困難であるが、一人でも多くの市民に、環境について考えていただき、今回のような取り組みが広がっていくよう、啓発方法を工夫する必要がある。